

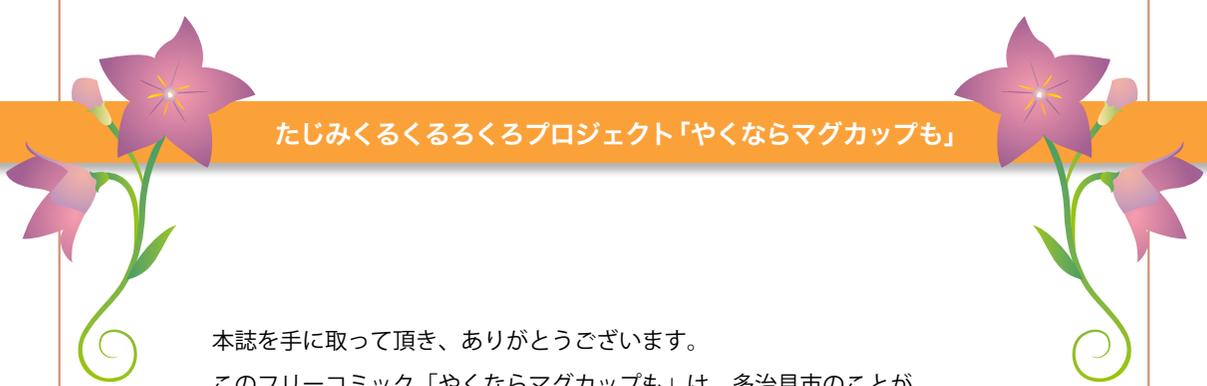


やくな
マギカ、杯モ



YAKUNARA MUG CUP MO

10



たじみくるくるろくろプロジェクト「やくならマグカップも」

本誌を手にとって頂き、ありがとうございます。

このフリーコミック「やくならマグカップも」は、多治見市のことが大好きな仲間たちが発信する、くるくるろくろ漫画です。

多治見市は岐阜県の南部に位置する、美濃焼で有名な街です。

歴史ある窯元や、陶磁器の美術館、資料館が点在し、作陶に挑戦できる施設や、作家のうつわで料理を楽しむことができる飲食店も多くあります。

ものがたりは、そんな多治見の商店街に女子高生が引っ越してくる所から始まります。

彼女には数々の「出会い」が待っていました。

友だち、街の人々、陶芸……。

陶器の町で彼女は何を発見するのでしょうか。

「やくならマグカップも」は、たくさんの人の熱意から生まれた作品です。

主人公と同じように、ゆっくりではありますが育っていきますので、

今後の成長を、どうぞ見守って下さい。

やくならマグカップも制作スタッフ



第10話

土から生まれるもの

ものがたり

父親の仕事の都合で、亡き母の実家がある多治見に引っ越してきた姫乃^{ひめの}は、転校初日、クラスメイトの三華^{みか}の勘違いにより、訳もわからず陶芸部に連れ込まれていた。そこで初めて聞かされる、自身の母親が有名な陶芸家であったという意外な事実。驚き戸惑う姫乃だったが、母が残した作品と陶芸の世界を知るために、陶芸部に入部することを決めたのだった。

名は真土泥右衛門
マッドテイエモン



我輩は土である
わがはい



岐阜県土岐市は泉町
五斗蒔の地で
掘り出された我輩は

重量感があり
軽く粉碎加工をせず
自然のままで使用
することで得られる
特有な土味……
これこそが
我らの特長

多くの行程を経て
いま陶器用の土として
完成したのだ

ぐふっ

そう！我輩は
とうとみの
陶都美濃を代表する
誇り高き五斗蒔の……





んっしょ
んっしょ

せ……
説明しておこう
これは荒練りといって
よい陶器になるための
重要な行程ッ！



踏み手と我輩
一踏み一踏みが



えっつ
いいな
いいな

はあゝ
つめたくて
気持ちイイ♪



真剣勝負なのだッ！



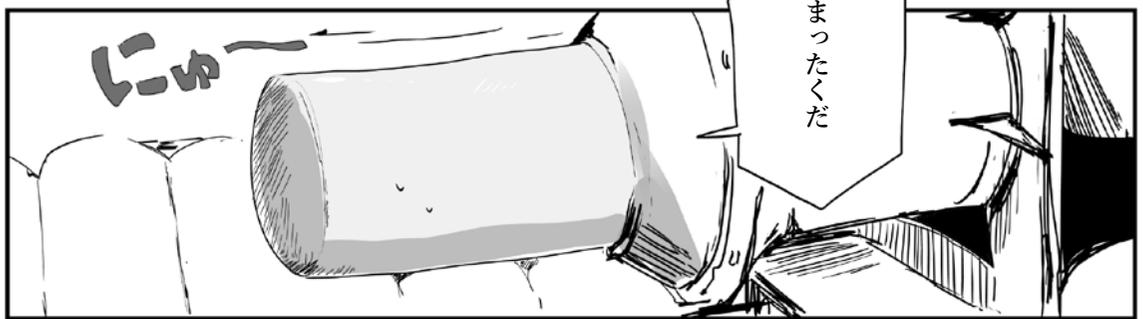
まったく
ただ踏めばいいって
もんじゃないのよ
適当な知識で
やっちゃ
ダメでしょ！

陶芸をするなら
土にはちゃんと
敬意を払いなさい

ごめん
なすい
ごめん

ぞぞぞぞぞ

土練機
どれんき



まったくだ

にゅー



しかし……

どうやら我輩が
送られてきたのは
著名な陶芸家の
元ではなく
陶芸を学ぶ場
のようだ

それにしても

この学び舎の
緩さはどうだ



本来指導者で
あるべきであろう
年長者は



あまり
顔を出さないし
いてもこれといった
指導もしない



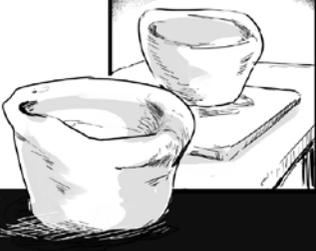
あの
おかつば娘は
若いわりに
気が利くし
テキパキ動く



が…



…陶芸の
腕はまだまだ
のようだ



あの地味っ子
に関して
そもそも陶芸への
興味をこれっぽっち
も感じない



いったい
なにゆえ
何故にここに
いるのか…



やはり…

この学び舎で
我輩を扱うのに
相応しい者は
この娘しかいまい…



なんと力強く
しかし優しく土を
扱うのか……



若いのにこれほどの腕前とは、よほど良い師がいるのだから、実に前途有望な娘だ



思うに将来の有名陶芸家の作品になるというのも悪くないのではないか？

ほう、これがかの有名なオデコ先生の初期の作品ですか？

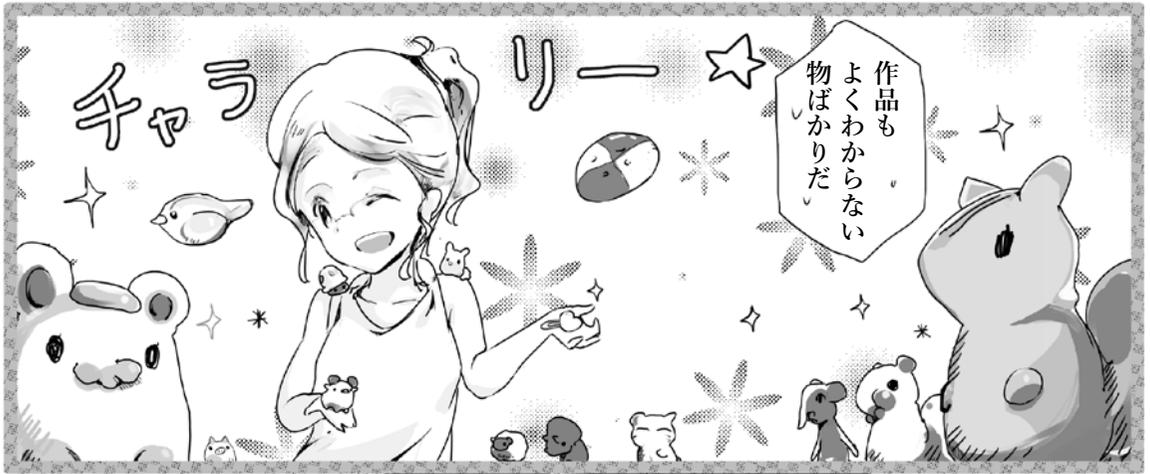
さすがオデコ先生、この頃からすでにこれほどの器を……

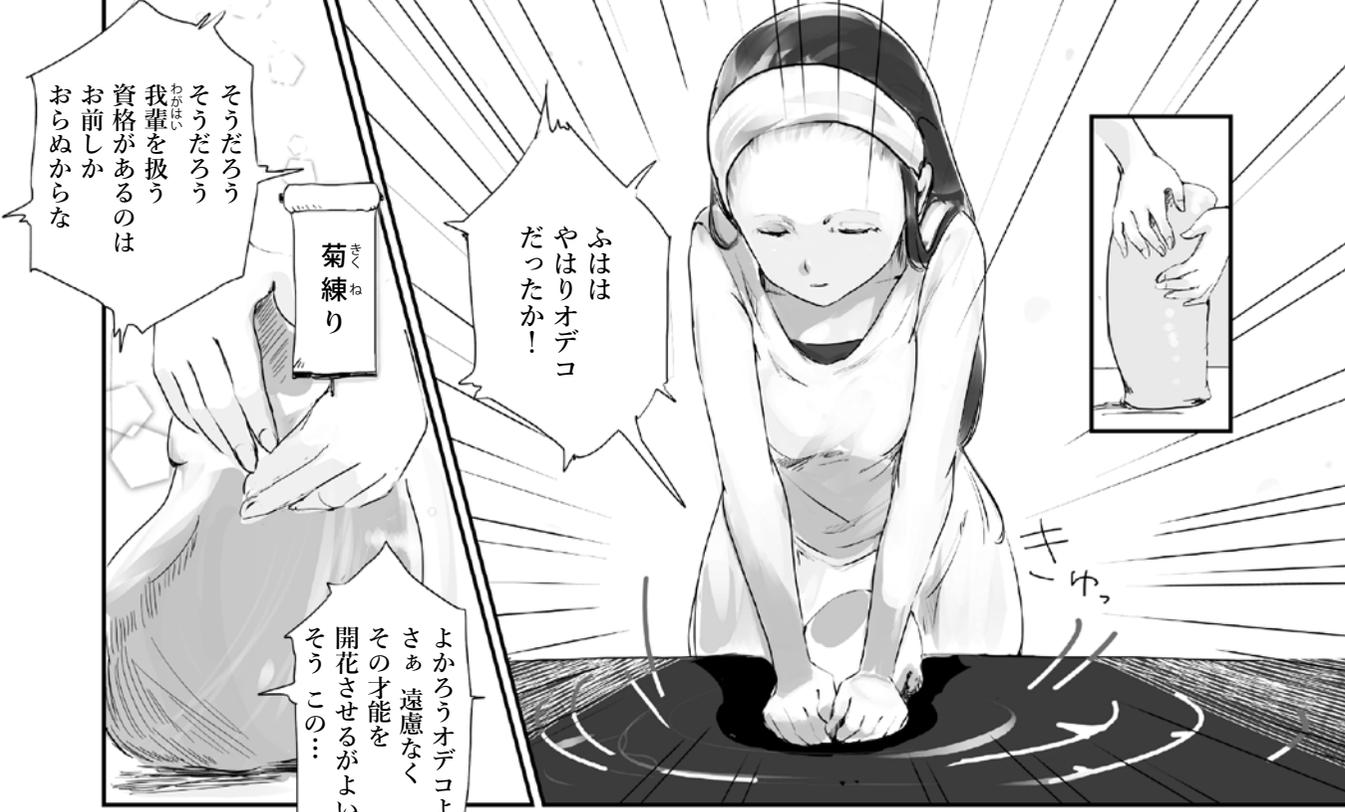


しかし、どうしようもないのがこの娘だ

ねーねー、とあと十子せんばい！十子せんばい！







はい
できたわよ

とうとみの
陶都美濃を
代表する
誇り高き五斗時
の土である
我輩をつか:
ことまき



えへ
十子先輩
ありがとう!
私に頼って
ばかりじゃ
だめよ





おっきなの
って難しそう
だね

うん今回はね
おっきなのを
作るんだよ

あれ？
紐^{ひも}づくり
するの？

まてまてまて
あわてるなあ
わてるなまて
あわてるな
まてまて……

ブチ
アイ
アツ



今回は
大物だという

そうだそうとも
今まで
きいろくりくりが
作って来たのは
小物ばかり

そ…

ふふふん
わたしはひめちゃんより
先輩だよ？
いっぱい勉強して
きたんだから



諦めてはダメだ!!

もしかしたら
相当なレベルの
造形力の持ち主かも
しれない



この
まがまが
禍々しい物体は
く…くりちゃん
いったい……

そ…そうだね
あれはちよつと…

ミーン

もう
期待せぬ

好きにしてくれ…

ミーン



あこれって
もしかして
部屋の外に
置いてある



もーっ やつと
わかったの？
そうだよ

神様の
お友達
つくってるの

いや
わからないでしょ
昨日のじゃあ…

うーんでも
ちよつとだけ
傾いちゃってるかな？



ちよつと？



しと...
しと...



くくりちゃん
また
やりなおしてるの？

んもう。



うん
やっぱり
大きいのは
難しいね

そっか
でもわざわざ
練り直さずに
新しい土を
使えば
いいんじゃない？

おおっ



やり直すなら
新しい土を
使ってくれ！

そうだと
も

わかはい
我輩でなくて
いいだろう！



だーめ
この土じゃなきや



この土ね

？

？



これで
最後なんだ



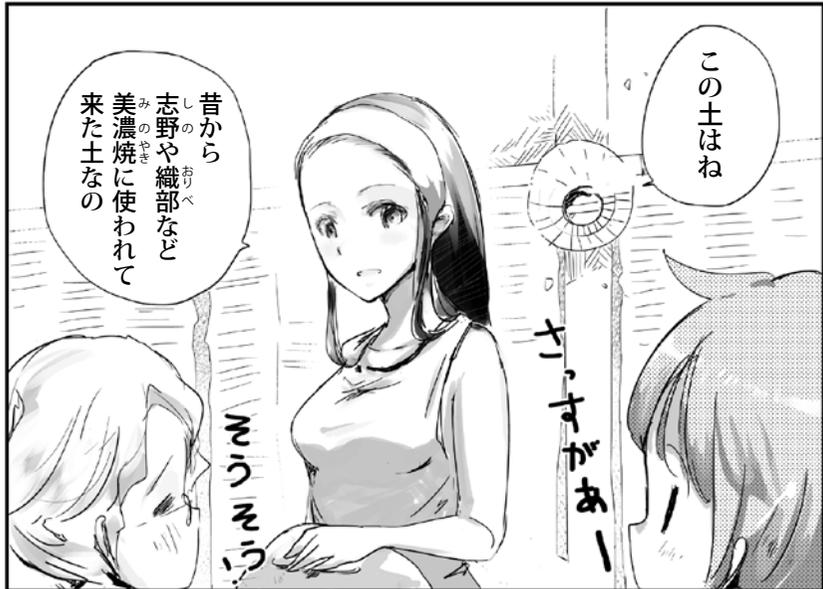
「五斗時陶土」よ
みかちゃん

このご...
ご...
えっと...

そっちのは
同じ名前だけど
少し違うんだよ



え? でも
こつちにも
同じ土が
あるよ?



昔から
志野や織部など
美濃焼に使われて
来た土なの

この土はね



そう!
ゴトマキ!



昔は可児や大萱でも
取れてただけど
ほとんど掘り尽く
されてしまつて

今では
土岐市泉町五斗時の
陶土層にしか
残ってないのよ

そして
その泉町も
数年前に
採土をやめて
しまったわ

だからそれが
この部屋に残つた
最後の「五斗時産」の
五斗時陶土なの

.....



だけど……
 やつぱり何か
 特別なものにして
 あげたいなって
 思ったの



あでもね
 そちらの同じ名前の土も
 ほとんどかわらないんだよ
 私なんかじゃ
 違いがわかんないもの



そっか
 それでそんなに
 大事に
 使ってるんだね

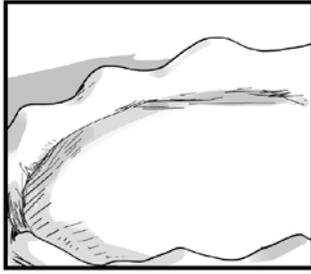


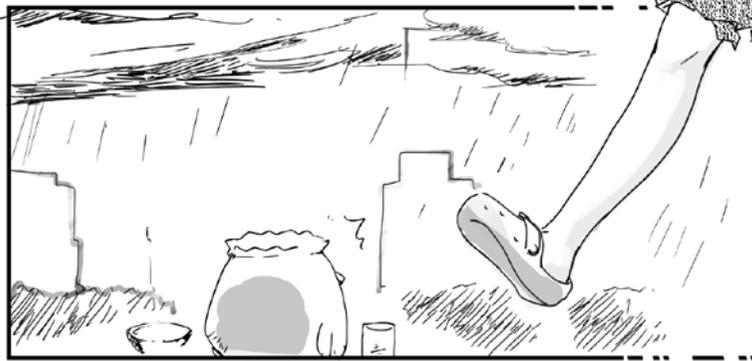
それに
 神様も
 おんなじ場所で
 産まれた土の
 お友達の方が
 嬉しいじゃない？



ふん……
 知っていたのか……

ならばなおさら
 もっとしっかり作って
 もらいたいものだな





素焼き

下絵付け



よし今日は
いよいよ
目を入れるぞ

ここは重要だぞ！
慎重に……
慎重にな！
きいろくりくり！



はあーっ……
暑いね……

あ先生
こんにちは

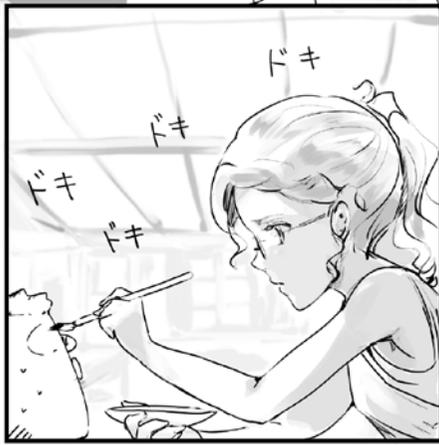


ドキ

ドキ

ドキ

ドキ



はい
サイダー
差し入れ☆

わあ
ありがとうございます
ございます

ほぐれ
冷えてて
おいしいぞお

ひゃああ





うわっ！
ごめんなさいっ！



……おっ

あはははは
なにこの顔……



あはははは
おまかせ
まはり
まはり
まはり

ほ 本当に
本当に
ごめんなさいっ！
くぐりさん
久々利さん

大丈夫です！
だってこっちの方
がカワイイもん♪

ふふふっ♪
よかったね
面白い顔に
なっ♪

どーん

よくないわーっ！



施せ
釉ゆう

ドボーン

つめたっ！
つめたっ！

いいだろう



きいろくりくりが
それでいいというなら

だがまあ……



いよいよだね
くくりちゃん

こんな大きな
作り出して
どうなるかと
思ったけど
形になったわね
がんばったね
みかちゃん

まったくだ
わがはい
我輩もどうなる
かと思っただが
まあそれなりに
なったではないか

ふふん
くくりちゃんは
やればできる
子なのです

さあ
あとは
焼成ね

窯詰め

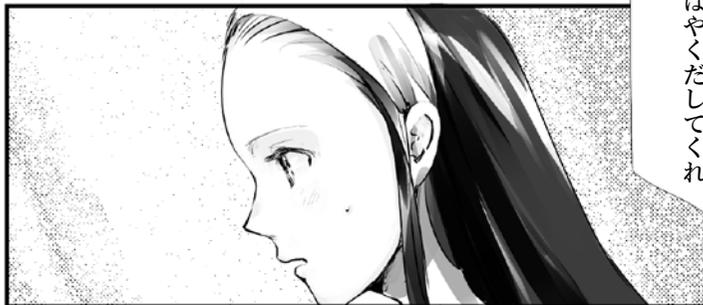
無事に
焼けて
くれると
いいけど…

ふん
まかせておけ
見事に焼き
上がってみせる

ズン



おおおでこか
いやはやさすがに
熱かったぞ...
さあはやくだしてくれ



ぽっ かり...

窯出し



ゴ...ト

あ...あ...
あ...あ...

そんな...

.....まさか.....



そうね
直す方法は
色々あるけど
こんなに
大きい穴は...

.....と
おこ
十子先輩
これ直せない
んですか？



.....

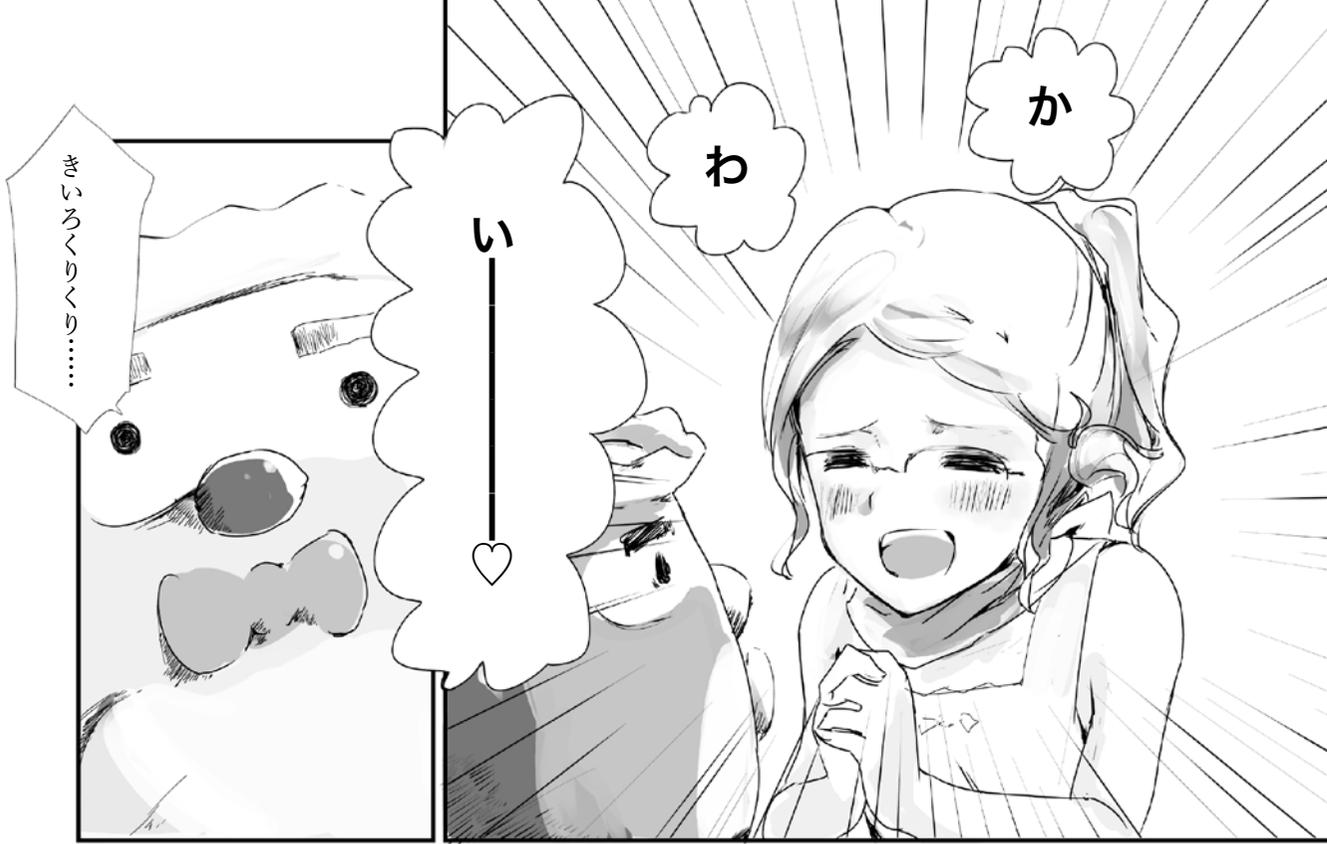
きいろくりくり.....
おぬしを喜ばせて
やりたかったのに.....



か



喜ぶ顔を
見たかったのに.....



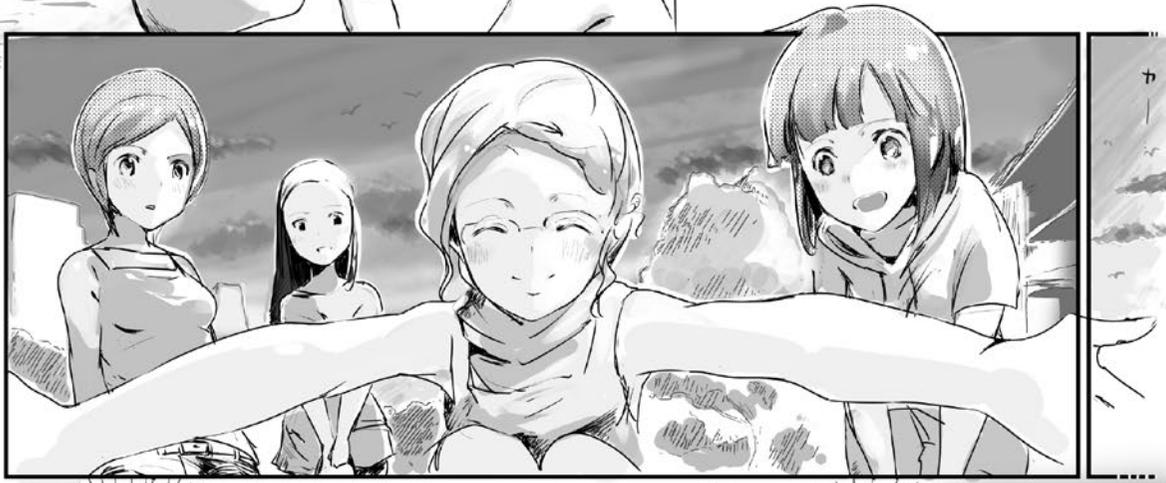
うん……
ちよつと
カワイソウ
だよ

やっぱり
十子^{とほこ}せんばいに
菊^{きく}練^ねりを
やつてもらえ
ばよかつたな

でも

大丈夫だよ

いいコト
おもいつい
ちやつたから
きつといい
感じになるよ



これは……

わあ
ステキ

考えたな
きいろくりくり

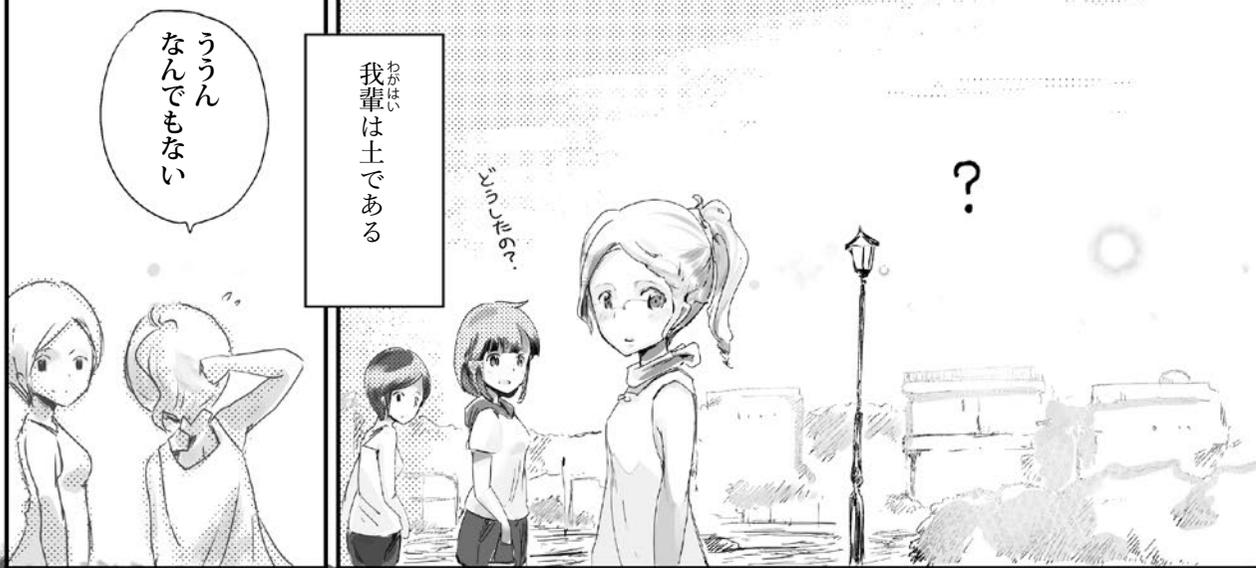
か……
かわいい……

くりちゃん
帰ろっか

じゃあね
みんなと仲良くね
また明日

ありがとう





ううん
なんでもない

おはい
我輩は土である

はいはい

?



我輩
名を真土泥右衛門
と申します

おお
ご挨拶が
遅れましたな

ここに
いる

岐阜県土岐市は泉町
五斗蒔の地で
掘り出された我輩は
多くの行程を経て



以後
お見知り置きを



誇り高き

いろいろくりくりの
作品でございます

やくならマグカップも vol.10

2014年8月3日発行

編集 やくならマグカップも制作スタッフ

発行者 元気な多治見株式会社

<http://yakumo-tajimi.com>

e-mail: otoiawase@yakumo-tajimi.com

Copyright (C)2014 元気な多治見株式会社 All Rights Reserved

本誌に掲載されている写真、イラストレーション、文章及び漫画の無断転載、使用を禁止します。

二次創作物につきましては、やくならマグカップも HP をご覧下さい。



<http://yakumo-tajimi.com>